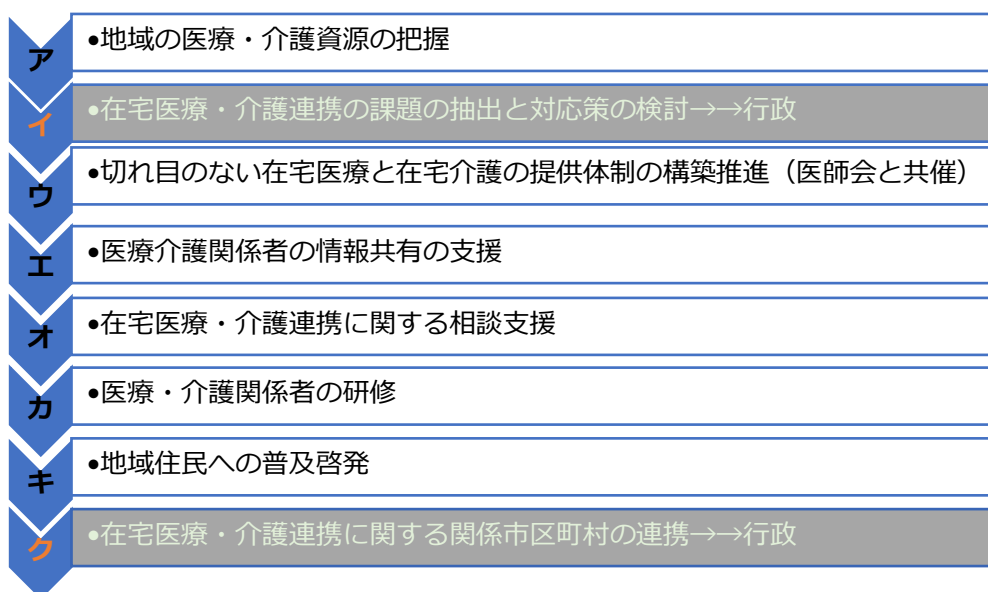


長浜米原地域医療支援センター事業経過とこれから

専門員 今井享子・池野さち子

当センターは、平成 24 年秋の準備期を経て、平成 25 年から本稼働し、早 6 年が経過しました。その中での活動費は、地域医療再生計画の基金や、県と両市の補助金、平成 27 年からは両市から介護保険の地域支援事業を湖北医師会に委託され活動しています。平成 28 年からは、以下の在宅医療・介護連携推進事業の 8 事業の中でイ・ク以外を受託する事になり、専門員が 2 人になりました。



昨年度のトピックスは（ア）の事業、地域の医療・介護資源の把握に関することです。

ホームページをリニューアルし、在宅医療をされている診療所や訪問看護ステーションの詳細情報、訪問歯科診療所・在宅訪問対応保険薬局・介護事業所などについて紹介しています。県や両市から変更や中止の報告を受け、1 回／月更新しながら新着情報を載せています。地域包括支援センター職員やケアマネジャーから、利用者さんや自分の資料として活用されていると伺っています。

また、フェイスブックを利用してホームページの紹介を行い、月平均 250 前後のアクセスを頂いています。更に研修内容や研修日が重なることも多々あり、効率の良い研修計画ができるようにホームページのトップに研修カレンダーを設置しました。各団体から研修案内を受けてカレンダーに掲載していますが、毎月 10 以上の予定が入り、湖北地域の研修体制について再考の必要性を感じ、今年度中に各団体の研修内容について現況調査を行い、アンケートから見てきた団体の特色や住み分けなどを洗い出し公表したいと考えています。

今年度のトピックスは、（キ）の事業、地域住民への普及啓発に関することです。

平成 26 年から在宅医療カフェと称し「住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らせるために」をテーマに湖北地域の中学校区を巡回し開催地域の住民と専門職の話し合い（16 回）を進めてきましたが、家族間を含め地域交流の希薄さと高齢者問題が主流で、在宅医療に特化した話し合いにはなり

ませんでした。また、出前講座では高齢者の医療や介護について情報提供を行っていますが、講義形式で一方通行の為、受講者は受け身的であり、且つ行動変容まで至っていないのではないかと考えます。何か良い策はないかと模索していた所、今年3月末に人生の最終段階の医療に関する決定プロセスのガイドライン改正やACP概念の導入などが話題になりました。検索すると、亀田総合病院監修の「もしバナゲーム」がヒットしたではありませんか。早速資料を取り寄せて、湖北の実情に合わせた方法で「もしバナゲームをしませんか」をご案内し、第2弾出前講座として開催しているところです。一方で、介護サービス事業者協議会のグループホーム・小規模多機能部会から看取りケア研修会の講師を依頼され開催したところ、介護事業所から追加依頼がありました。介護事業所の看取りケアに対する学習ニーズを鑑み、介護事業所対象に「看取りケア」の出前講座を企画し、現在広報段階です。いずれも「タブーな事柄を積極的に考える➡考えを話す（言語化）➡他人の意見を聴く➡文章化する」このような行程を経て地域住民には「いざという時の判断に役立つ」介護スタッフには「利用者さんの想いに寄り添う・自信をもってケアできる」を目的に開催したいと考えています。

今年度の第9回地域医療福祉フォーラムでは、勇美記念財団から助成を受け、平成31年1月12日（土）開催します。尼崎市の長尾クリニック 長尾和宏先生の基調講演「人生の終わりを一緒に考えませんか」とシンポジウムでは「看取りを語る」を主題に、がん終末期で「妻のそばにいたい」という本人の意向を受け、ご家族がぶれずに支え、橋本修先生を筆頭に専門職がフォローした結果、自宅看取りに繋がったお話を伺います。長尾先生には座長をお願いしていますが、今後打ち合わせ次第でどのようなフォーラムになるか楽しみにしています。

この様に、評価しながら事業を展開しているところです。今後ともよろしく願います。



公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団助成

第9回 地域医療福祉フォーラム2018

参加無料 定員300人

日時 平成31年1月12日(土) 13:00～16:00(受付12:30～)

会場 長浜文化芸術会館 長尾クリニック 院長 長尾和宏 先生

「看取り」の経験を語る会
最期まで自分らしく暮らすために

プログラム

開会あいさつ 13:00～13:15

第1部 基調講演 13:15～14:45
人生の終わりを一緒に考えませんか
＜講師＞ 医療法人社団裕和会 理事長 長尾クリニック 院長 長尾和宏 先生

第2部 シンポジウム 15:00～16:00
自宅で看取りをされたご家族や関係者からお話を伺います
～家族と共に自宅で最期を迎えたい～
シンポジスト：ご家族、かかりつけ医、訪問看護師、ケアマネジャー、訪問入浴介護

○電話またはFAXにて事前に参加申込をお願いします。
○申し込み、お問い合わせ先 長浜米原地域医療支援センター TEL/FAX65-2755
○締め切り 平成31年1月7日まで
○豊田駅駐車場をご利用される場合は、駐車券の無料処理を行います。会場までお持ちください。

主催：長浜米原地域医療支援センター 共催：長浜市・米原市・滋賀県長浜保健所



人生の最終段階において
あなたにとって大切な事を考えてみませんか

湖北地域に在住の方へ、出前講座第2弾のお知らせ
「いざという時」ご自身の意向が伝えられないことが多く、事前に考えてあなたの意思を信頼する方に伝えておく事は大切です。タブーになりがちな内容を、ゲーム感覚で考え、文字化し話し合う事で人生の最終段階の医療や介護について「自分はどうしたいか」を考えて整理します。

あなたにとって大切なカード3枚を選択します
選んだ理由をグループの中で共有します
他の方の意見を参考に自身の価値観を広げましょう

～もしバナゲーム～
いざという時の判断に役立つ為に

湖北地域に在住の医療介護福祉関係者の方へ
日々の業務やあなたの経験から、人生の最終段階の医療やケアについて「どのようにして欲しいか」を自身で考えて、お隣さんとシェアしましょう。自身に置き換えることで利用者さまの気持ちに寄り添うことができます。自分にして欲しくない事はきっと誰にとっても嫌なものです。また、「看取りケアとは何か」を学習する事で、自信をもって利用者様やご家族の不安にも寄り添うことができます。当センターでは、施設において「看取りケア」について一緒に考える講座を開催しています。

●講座開催にかかる費用は無料です
●当センターで作成したエンディングノートなど資料を配布します
●講座にかかる情報は持ち帰ります

お申し込みは 長浜米原地域医療支援センターへ TEL/FAX 65-2755

今年度は勇美記念財団から助成を頂き、開催します

地域住民対象に「もしバナゲーム」と、介護スタッフ対象に「看取りケア」の出前講座用チラシを作成し広報しています